

クラスター代数、
デンキン図、
クラインの特異点、
ルート系
正多面体
С. Кусафуса

菱形にならんだ数

$$\begin{array}{ccc} & a & \\ b & & c \\ & d & \end{array}$$

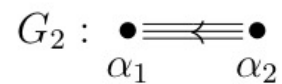
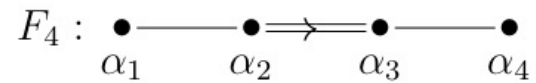
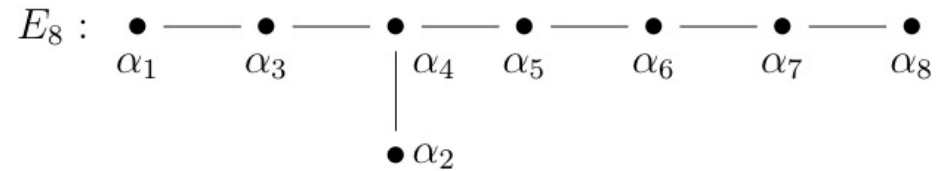
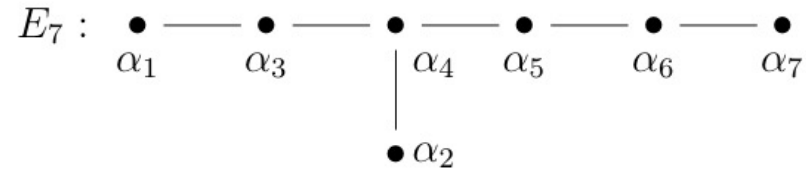
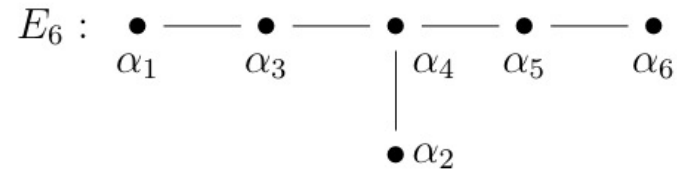
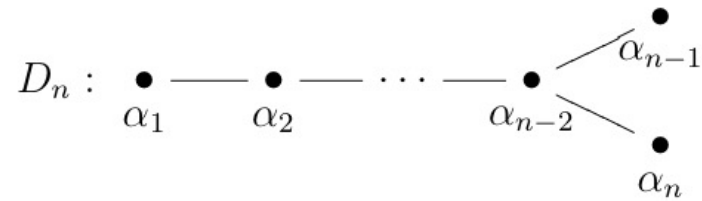
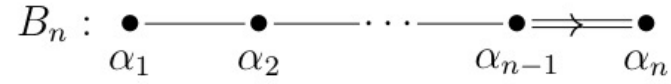
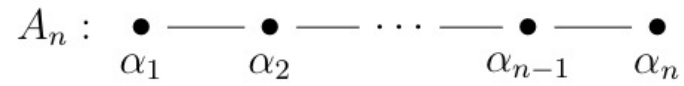
が、 $bc = ad + 1$ を満たすように、左から右へと、数を並べていきます。

$$\begin{array}{cccccccc} & \boxed{1} & & \boxed{1} & & \boxed{1} & & \boxed{1} \\ \boxed{1} & & 2 & & 2 & & 3 & & 1 \\ & \boxed{1} & & 3 & & 5 & & 2 & & 1 \\ & & \boxed{1} & & 7 & & 3 & & 1 \\ & \boxed{1} & & 2 & & 4 & & 1 & & \\ & & \boxed{1} & & \boxed{1} & & \boxed{1} & & \boxed{1} \end{array}$$

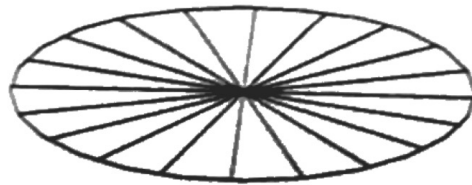
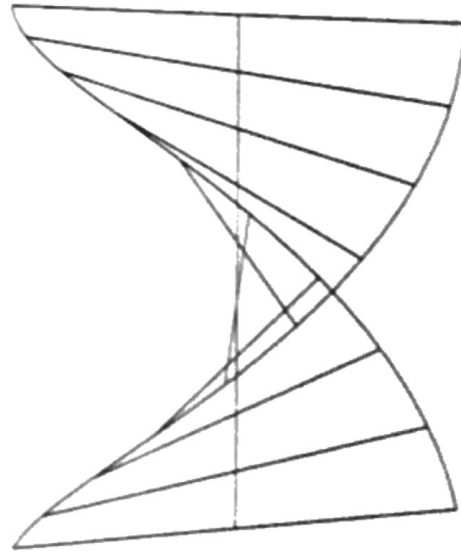
定理 1.1. (1) このようにして現れる数は、必ず正の整数になる。

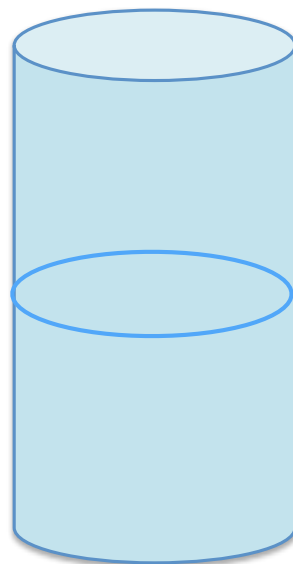
(2) しばらく並べると、上のように再び 1 が折れ線状に並ぶ。

デンキン図



Blow up





正 n 面体

正 q 角形

r 個の面

4

3

3

6

4

3

8

3

4

12

5

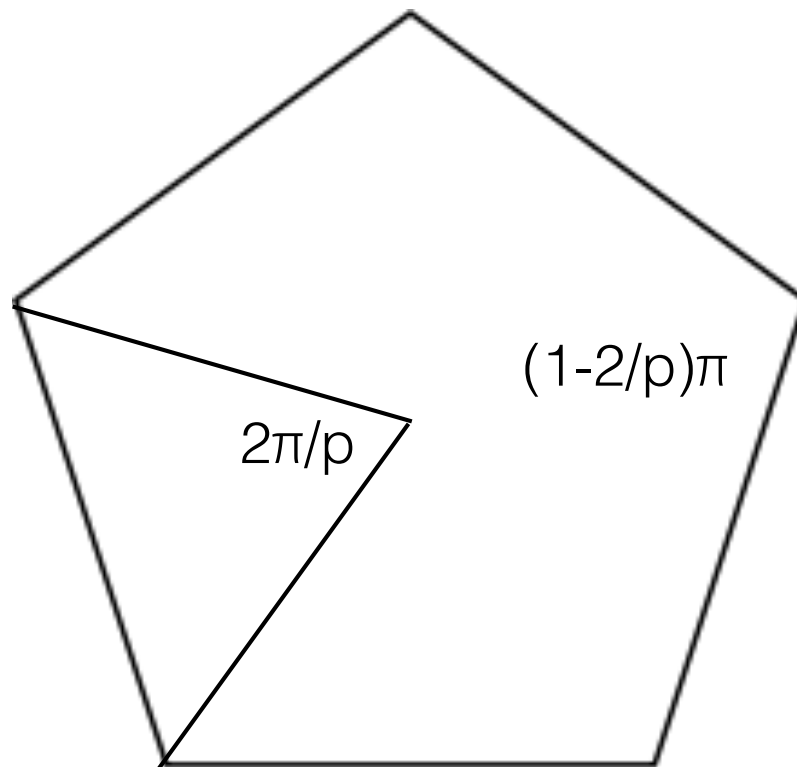
3

20

3

5

正 p 角形



正P角形、頂点の周りにq個

$$\frac{1}{p} + \frac{1}{q} + \frac{1}{r} > 1$$

をみたす正の整数の組み (p, q, r) をすべて求めよ.

$$(m, l - m + 1, 1), \quad 1 \leq m \leq l$$

$$(L - w, 2, 2), \quad 4 \leq l$$

$$(3, 3, 2), (4, 3, 2), (5, 3, 2)$$

pとqを入れ替える → 双対多面体

$$\left(1 - \frac{2}{p}\right) \cdot \pi \cdot q < 2\pi$$

$$\frac{1}{p} + \frac{1}{q} + \frac{1}{2} > 1$$

$$(p, q) = (p, 2), (2, q), (3, 3), (3, 4), (3, 5), (4, 3), (5, 3)$$

穴の開いていない多面体、すなわち球面に位相同型な多面体については、頂点 v 、辺 e 、面 f の数について、頂点の数 v - 辺の数 e + 面の数 $f = 2$ が成り立つ。これをオイラーの多面体定理 (シュレーフリの定理の3次元での特殊ケー)

穴の開いている多面体の場合には、種数 (穴の数) を g とすると、

$$\text{頂点の数 } v - \text{辺の数 } e + \text{面の数 } f = 2 - 2g$$

この値を**オイラー標数**と呼ぶ。

$$\text{種数 } g \text{ の多面体の面 } \left\lfloor \frac{7 + \sqrt{1 + 48g}}{2} \right\rfloor \text{ (最大の整数)}$$

色で塗り分けることができる $g = 0$ のときこの式の値は4となり、四色定理を示す。

鏡の数、部屋の数と巾指数

型	鏡の数. m	部屋の数. g	巾指数. d	備考
An	$n(n+1)/2$	$(n+1)!$	$1, 2, \dots, n$	正四面体の高次元版 $n \geq 1$
Bn	n^2	$n^2 \cdot n!$	$1, 3, 5, \dots, 2n-1$	正六面体の高次元版 $n \geq 2$
Dn	$n(n-1)$	$n^{(n-1)} \cdot n!$	$1, 3, 5, \dots, 2n-3, n-1$	$n \geq 4$
E6	36	$2^7 \cdot 3^4 \cdot 5$	$1, 4, 5, 7, 8, 11$	
E7	63	$2^{10} \cdot 3^4 \cdot 5 \cdot 7$	$1, 5, 7, 9, 11, 13, 17$	
E8	120	$2^{14} \cdot 3^5 \cdot 5^2 \cdot 7$	$1, 7, 11, 13, 17, 19, 23, 29$	
F4	24	$2^7 \cdot 3^2$	$1, 5, 7, 11$	
G2	6	12	$1, 5$	
H3	15	120	$1, 5, 9$	正十二面体、正二十面体
H4	60	$2^6 \cdot 3^2 \cdot 5^2$	$1, 11, 19, 29$	
I2(m)	m	$2m$	$1, m-1$	
	$m = d_1 + d_2 + \dots + d_n$	$g = (1+d_1)(1+d_2)\dots(1+d_n)$		部屋の数 g は、鏡映群の位数

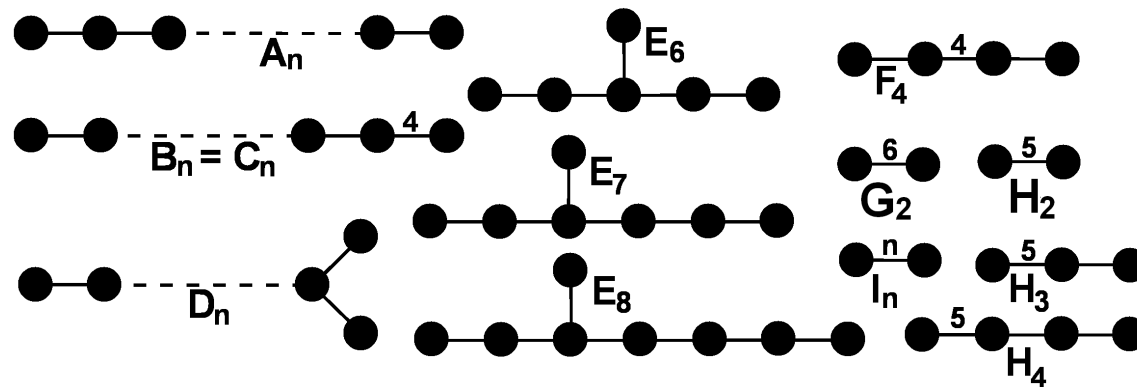
有限コクセター群の分類

記号	別表記	括弧記法	階数	位数	対応する多胞体	コクセター=ディンキン図形
A_n	A_n	$[3^n]$	n	$(n + 1)!$	n -次元単体	
BC_n	C_n	$[4, 3^{n-1}]$	n	$2^n n!$	n -次元超立方体 / n -次元交叉正多胞体	
D_n	B_n	$[3^{n-3}, 1, 1]$	n	$2^{n-1} n!$	n -次元半超立方体	
E_6	E_6	$[3^{2,2}, 1]$	6	$72 \times 6! = 51840$	$2_{21}, 1_{22}$	
E_7	E_7	$[3^{3,2}, 1]$	7	$72 \times 8! = 2903040$	$3_{21}, 2_{31}, 1_{32}$	
E_8	E_8	$[3^{4,2}, 1]$	8	$192 \times 10! = 696729600$	$4_{21}, 2_{41}, 1_{42}$	
F_4	F_4	$[3, 4, 3]$	4	1152	正24胞体	
G_2	-	$[6]$	2	12	正六角形	
H_2	G_2	$[5]$	2	10	正五角形	
H_3	G_3	$[3, 5]$	3	120	正二十面体/正十二面体	
H_4	G_4	$[3, 3, 5]$	4	14400	正120胞体/正600胞体	
$I_2(p)$	D_2^p	$[p]$	2	$2p$	正 p -角形	

コクセター群(Coxeter group)とは鏡映変換で表示できる抽象群

有限コクセター群は何らかのユークリッド鏡映群(一般次元正多胞体の対称変換群など)

コクセター群は鏡映群の抽象化として導入、有限コクセター群の分類は1935年に完了



一般次元正多胞体の対称変換群や単純リー代数のワイル群は有限コクセター群の例

ユークリッド平面や双曲平面の正則三角形分割 (regular tessellation) に対応する三角群や

無限次元カツツ-ムーディ代数のワイル群に、無限コクセター群の例がある

ベッチ数に隠された巾指数

鏡の補集合のなす複素多様体

$$M = \{(x_1, \dots, x_n) \in \mathbb{C}^n \mid a_i(x_1, \dots, x_n) \neq 0 \ (i=1, \dots, m)\}$$

k次元ベッチ数 $B_k(M)$ とし、Mのポアンカレ多項式を

$$\text{Poin}(M) = \sum B_k(M)t^k, \quad k \geq 0$$

巾指数が、 d_1, d_2, \dots, d_n のときのMのポアンカレ多項式

$$\text{Poin}(M, t) = (1+d_1 t)(1+d_2 t) \dots (1+d_n t)$$

メビウス関数とベッチ関数の関係

$$\text{Poin}(G, t) = \text{Poin}(M, t)$$

群の不変部分空間に隠された巾指数

固定部分空間

$$\text{Fix}(g) := \{v \in V \mid g(v) = v\}$$

固定部分空間の次元と巾指数の関係

$$\begin{aligned} \sum t^{\dim \text{Fix}(g)} &= (1+t)^{d_1} (1+t)^{d_2} \dots (1+t)^{d_n}, \quad g \in G \\ &= \text{Poin}(G, t) \end{aligned}$$

簡単な $n=2$, 鏡の数 $2=m$

$$\begin{aligned} \sum t^{\dim \text{Fix}(g)} &= 1t^{2-2} + mt^{2-1} + (m-1)t^{2-0}, \quad g \in G \\ &= 1+mt+(m-1)t^2 \\ &= (1+t)\{1+(m-1)t\} \end{aligned}$$